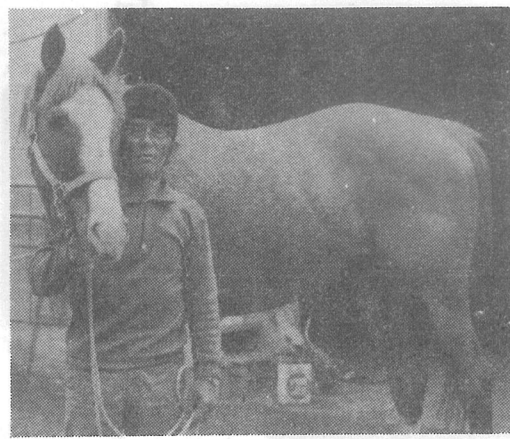


# 町民のひろは。

## 愛馬 ⑧ 自慢あれこれ

鈴木聰さん (中台)



各紙面の中で写真  
御希望の方へ  
お譲りします。  
企画課広報係まで  
お問い合わせください。

四街道の乗馬クラブから入手したのが今年一月八日。無類の馬好きで、幼い頃は騎手になることが夢だったという。  
飼育を始めて三日目、放牧中にサクを飛び越えて逃げられ、警察に仕末書を取られたこと―は、過去の飼育経験からも初めてのことで、特に印象深かったようだ。  
「環境が変わり、仲間と離れてしまったので寂しかったんです。う。」  
「だっこをみつめる鈴木さんの眼は微笑んでいた。」



### 私たちの作品

今月号から、町内各小学校児童の作文を、シリーズで掲載する予定です。

しょうぼうしよのおじさん、五月十日はいそがしいところをぼくたちのために、いろいろとおしえてくれてどうもありがとうございます。ました。  
ぼくは、かがく車を見るのがはじめてだったので、うれしくてたまりませんでした。



### しょうぼうしよのおじさんたちへ

大総小三年 伊藤一哉

はじめは、しょうぼうしよさんの話でいろいろなことがわかりました。そのつぎには、レンジャーぶたいの人などにシャッターなどをきるエンジンカッターや、けむりの中に入るときにつかうくう気ボンベなど、おしえてもらってとてもうれしかったです。

雨のためにほんとうのれんしゅうは見せてもらえなかったけれど、ぼくはあのえいが見て一ばんびつくりしたのは、いのちづなというのでした。二本のロープに、下のロープには、りょう足をやって、上のロープには、りょう手を

はじめは、しょうぼうしよのおじさん、五月十日はいそがしいところをぼくたちのために、いろいろとおしえてくれてどうもありがとうございます。ました。  
ぼくは、かがく車を見るのがはじめてだったので、うれしくてたまりませんでした。

はじめは、しょうぼうしよのおじさん、五月十日はいそがしいところをぼくたちのために、いろいろとおしえてくれてどうもありがとうございます。ました。  
ぼくは、かがく車を見るのがはじめてだったので、うれしくてたまりませんでした。

## 横芝俳壇

### 横芝句会五月例会

ぼうたんの盛りは句座の日と合いし  
土屋栗水  
石川寄水  
バス通るとき露の葉をかえすなり  
斉藤ちくろ  
落広葉だけに音する通り雨  
土屋栗舟  
老夫婦露剥く指を見せ合える  
藤代ゆう

露の筋まつわる指の染まりけり  
成田様子  
露叢(むら)もありて寺苑の熊手跡  
宇井芝童  
鎌研(と)ぐや額の先に揺るる露  
木下石果子  
わだかまる雲露の葉に雨こぼし  
安井ゆうずる  
干拓の沖へ展けて夏来る  
林 義村  
日蔭りの一陽露の屋敷跡  
向後雅子  
夏立つや老い身の運び軽くなり  
鈴木南知

放牛の草をしとねに夏来る  
津田若菜  
裏庭の露はゆたかに核家族  
原ひさし  
露刈るや切口水を滴らせ  
佐久間実枝子  
切りし日もまた煮る夜も露句ふ  
三枝句城  
廻転ドアー光り立夏の人を吐く  
古屋紅雲  
露を煮ることも請合い留守居かな  
次回  
日時 七月三日(月)  
兼題「夏瘦」「出水」